

# 2012年 感染症発生動向調査 (患者発生動向)

## — 定点把握感染症 —

中山 淳一郎 真田 正稔

Annual Report of Infectious Disease Surveillance from Sentinel Hospitals in Kyoto Prefecture, 2012

Junichirou NAKAYAMA Masatoshi SANADA

京都府内の感染症発生動向調査の定点把握感染症について、2012年の第1週から52週の発生動向の概要を報告する。2012年の年間定点あたりの報告数は感染性胃腸炎339人、インフルエンザ293人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎65人、水痘50人、流行性角結膜炎23人の順に多かった。基幹病院定点報告では、マイコプラズマ肺炎114人、無菌性髄膜炎1人、細菌性髄膜炎1人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症156人の報告があった。性感染症定点報告では、性器クラミジア感染症は475人(定点あたり20.7人)、性器ヘルペスウイルス感染症141人(定点あたり6.1人)、尖圭コンジローマ52人(定点あたり2.3人)、淋菌感染症は91人(定点あたり3.9人)の報告があった。

キーワード：京都府感染症発生動向調査、定点把握感染症

key words：Kyoto prefectural infectious disease surveillance, Notifiable infectious diseases from sentinel clinics

### はじめに

1999年4月から、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)」の施行により、感染症発生動向調査事業が実施されている。京都府では、保健環境研究所内に感染症情報センターを設置し、医療機関から保健所に報告された感染者の発生動向情報を集計し、解析した結果を毎週公開している\*1。

感染症法では五類感染症のうち、26の感染症が定点把握感染症と定められている。各地域の人口割合に応じて指定された定点(指定届出医療機関)から、これら定点把握感染症の患者数が週単位、あるいは月単位で保健所に報告され、地域の感染症の流行状況が迅速に把握できるサーベイランスとなっている。

今回、2012年第1週から52週までに報告され、2013年3月までに確定した定点把握疾患感染症の感染者情報をもとにその概要をまとめ、報告する。

### 材料と方法

感染症発生動向調査システム(NESID：National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases)に集計され、2013年3月までに確定した2012年第1週から52週までの定点把握感染症の情報を使用した。インフルエンザ定点報告ではシーズンの流行を明らかとするため、一部で2013年17週までのデータを使用した。指定届出医療機関(定点)は、把握対象感染症によりインフルエ

(平成25年7月31日受理)

\*1 京都府感染症情報センターホームページ  
<http://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

ンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹病院定点及び性感染症(STD)定点の5種類に分類されている。京都府の保健所別の定点数の一覧を表1に示した。週単位でインフルエンザ定点からはインフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)、小児科定点からはRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、眼科定点からは急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎、基幹病院定点からはマイコプラズマ肺炎、ク

表1. 京都府の指定届出医療機関(定点)一覧

保健所名	定点種別				
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹病院	STD
乙訓	5	3	1	1	1
山城南	5	3	1	1	1
中丹西	5	3	1	1	1
山城北	17	10	3	1	3
南丹	9	5	1	1	2
中丹東	8	5	0	0	1
丹後	5	4	1	1	1
京都市					
北	7	4	1	0	1
上京	5	3	1	0	1
左京	7	4	1	0	1
中京	5	3	2	1	2
東山	3	2	0	0	1
山科	7	4	1	0	1
下京	3	2	0	0	1
南	5	3	0	0	1
右京	8	5	1	0	1
伏見	11	7	2	0	2
西京	7	4	1	0	1
京都市以外	54	33	8	6	10
京都市	68	41	10	1	13
京都府	122	74	18	7	23

ラミジア肺炎（オウム病を除く）細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎の発生が報告され、月単位でSTD 定点からは性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、基幹病院定点からはメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症、薬剤耐性アシネトバクターの発生が報告されている。報告数は、当該週あるいは月に報告があった定点（患者ゼロ報告を含む）数で患者数を割り戻して定点あたり報告数とした。但し、京都市内と年間の定点あたり報告数については表1の定点数で割り戻し、定点あたり報告数として示した。

## 結果と考察

### 1. インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点報告

毎週報告がある感染症別の定点あたりの患者報告数を2012年の週ごとに表2に示した。2012年の年間定点あたりの報告数は感染性胃腸炎339人、インフルエンザ293人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎65人、水痘50人、流行性角結膜炎23人の順に多かった。2010年は感染性胃腸炎321人、水痘59人、流行性耳下腺炎47人、手足口病43人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎40人の順で多く<sup>1)</sup>、2011年は感染性胃腸炎269人、インフルエンザ175人、手足口病92人、水痘46人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎43人の順に多かった<sup>2)</sup>。2012年に多く報告された定点把握感染症で過去10年間の発生推移を全国の報告値とともに図1に示した。

2012年の冬季の感染性胃腸炎は、2010、2011年と比べてほぼ同様の流行となった。表3に保健所別の小児科定

点あたりの報告数を示し、図2に京都府管轄保健所別の2012年の週別推移を示した。保健所管内ごとに報告数が大きく異なり、感染性胃腸炎は地域により流行の大きさに差があり、その流行時期もずれることが確認されたが、季節消長ではおおむね一致していた。

2012-2013年シーズンのインフルエンザは、1-7週に定点あたり患者数のピークがあり、新型インフルエンザ(A/H1N1pdm09)が流行した2009年を除いた近年における発生傾向は同じであった(図3)。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、毎年小児科定点からの報告数が多い感染症のひとつであるが患者数で2012年は2011年の倍近い報告があった(図1)。

水痘の発生は年ごとの患者数に大きな変動はなく、毎年冬季から春季にかけて流行がある(図1)。水痘は患者の74%が4歳以下であった。

2012年はRSウイルス感染症が乳幼児の間で流行したが、患者は95%が3歳以下であった。

### 2. 基幹病院定点報告

基幹病院定点から報告される7感染症中、マイコプラズマ肺炎114人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症156人、薬剤耐性緑膿菌感染症1人、無菌性髄膜炎1人、細菌性髄膜炎1人の報告があった。2012年京都府でのマイコプラズマ肺炎は、15歳未満が82%を占め、女性の方がやや多い報告数であった。全国においてもほぼ同様の傾向を示した(表4)。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の発生状況を男女別年齢階級別に表5に全国の集計結果とともに示した。患者報告はすべて、南丹・中丹西・丹後保健所管内の定

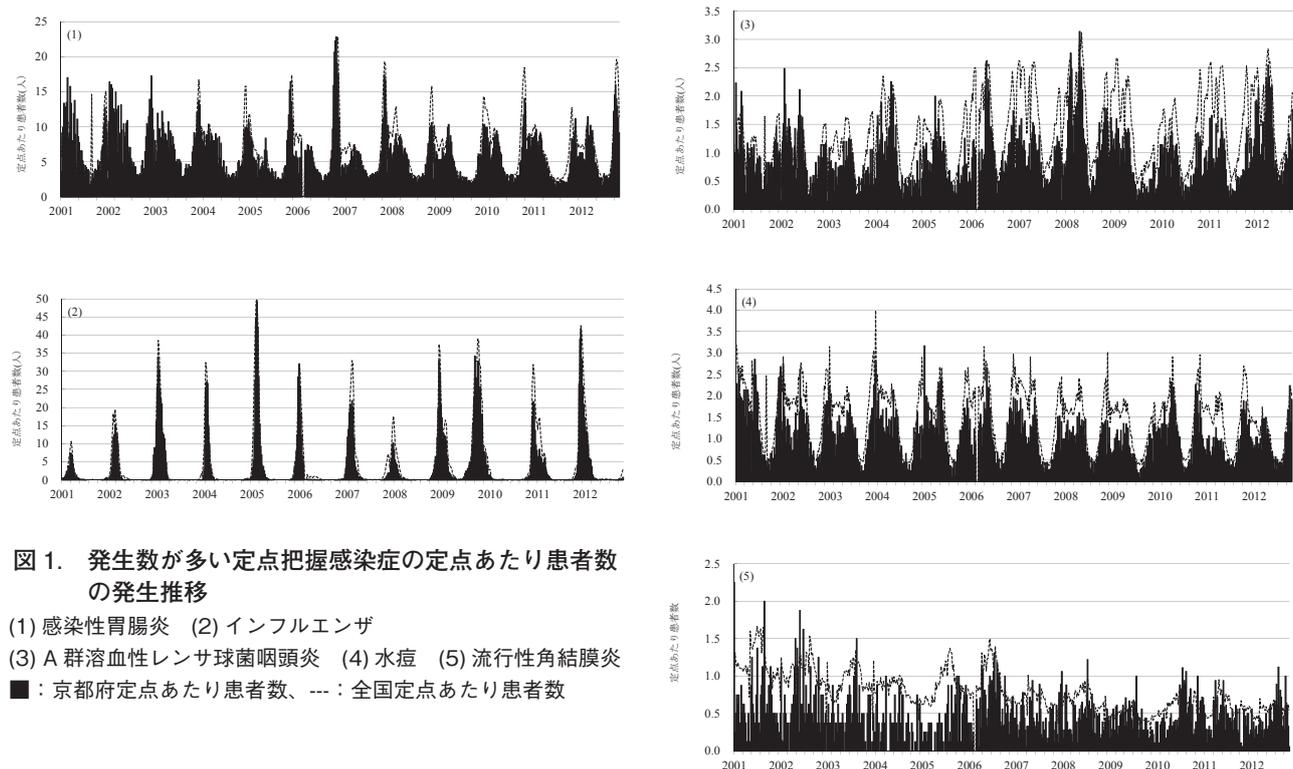


図1. 発生数が多い定点把握感染症の定点あたり患者数の発生推移

(1) 感染性胃腸炎 (2) インフルエンザ  
(3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (4) 水痘 (5) 流行性角結膜炎  
■：京都府定点あたり患者数、---：全国定点あたり患者数

表 2. 2012 年京都府 定点把握感染症の定点あたり患者報告数の週別推移

週	インフルエンザ*	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群*	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
1	3.53	0.42	0.08	0.72	5.39	1.87	0.41	0.04	0.07	0.00	0.00	0.28	0.00	0.56
2	7.55	0.28	0.06	0.83	9.04	1.32	0.27	0.13	0.52	0.01	0.00	0.17	0.00	0.39
3	26.47	0.27	0.04	1.25	11.10	1.07	0.49	0.15	0.27	0.00	0.01	0.30	0.00	0.47
4	38.87	0.25	0.04	0.92	7.63	1.45	0.39	0.03	0.39	0.00	0.01	0.08	0.00	0.33
5	41.57	0.21	0.08	0.83	5.56	0.94	0.23	0.06	0.17	0.00	0.01	0.15	0.06	0.50
6	33.43	0.11	0.04	1.11	5.77	1.04	0.25	0.04	0.21	0.00	0.01	0.11	0.00	0.50
7	25.99	0.15	0.07	1.24	5.78	0.99	0.17	0.07	0.28	0.00	0.01	0.13	0.11	0.17
8	20.95	0.14	0.11	1.90	6.32	0.92	0.08	0.08	0.26	0.00	0.01	0.18	0.00	0.22
9	17.29	0.04	0.07	1.93	6.36	0.79	0.21	0.06	0.35	0.00	0.00	0.26	0.00	0.28
10	14.66	0.18	0.01	1.85	5.82	0.85	0.18	0.13	0.29	0.00	0.00	0.15	0.00	0.56
11	13.31	0.12	0.15	2.15	6.27	0.79	0.15	0.12	0.21	0.00	0.04	0.30	0.00	0.24
12	12.88	0.11	0.07	1.49	5.40	1.04	0.15	0.12	0.37	0.01	0.01	0.28	0.00	0.39
13	9.85	0.03	0.21	0.97	5.31	1.04	0.07	0.09	0.23	0.01	0.00	0.25	0.00	0.17
14	6.14	0.07	0.05	0.95	5.13	0.89	0.01	0.07	0.31	0.00	0.00	0.36	0.00	0.29
15	5.85	0.05	0.05	1.15	8.15	0.77	0.04	0.09	0.26	0.01	0.01	0.43	0.00	0.33
16	5.57	0.20	0.09	1.55	9.80	0.88	0.14	0.11	0.45	0.03	0.03	0.26	0.00	0.22
17	3.67	0.12	0.09	1.53	11.45	1.00	0.18	0.18	0.41	0.00	0.01	0.28	0.00	0.17
18	1.41	0.05	0.08	0.86	5.47	0.74	0.12	0.03	0.21	0.00	0.01	0.26	0.00	0.35
19	0.72	0.04	0.09	1.72	8.77	1.46	0.11	0.07	0.43	0.00	0.00	0.30	0.00	0.44
20	0.40	0.08	0.19	2.33	10.24	1.11	0.19	0.09	0.37	0.00	0.08	0.47	0.00	0.41
21	0.39	0.00	0.27	2.22	9.38	1.47	0.08	0.12	0.31	0.00	0.16	0.34	0.00	0.28
22	0.30	0.05	0.36	2.55	9.49	1.20	0.11	0.08	0.38	0.03	0.20	0.41	0.00	0.39
23	0.15	0.01	0.26	2.35	7.16	1.50	0.12	0.03	0.43	0.00	0.19	0.39	0.00	0.17
24	0.04	0.00	0.28	2.15	6.88	1.12	0.14	0.07	0.46	0.00	0.58	0.26	0.06	0.28
25	0.01	0.00	0.61	1.53	4.89	1.23	0.16	0.09	0.31	0.01	0.63	0.40	0.00	0.29
26	0.00	0.03	0.47	2.18	4.82	1.11	0.12	0.11	0.45	0.01	0.99	0.45	0.00	0.50
27	0.03	0.03	0.23	1.44	4.29	1.00	0.16	0.11	0.45	0.00	1.33	0.30	0.00	0.22
28	0.03	0.00	0.44	1.25	3.60	0.89	0.30	0.26	0.41	0.03	2.11	0.44	0.00	0.29
29	0.00	0.04	0.18	0.73	2.84	0.70	0.19	0.26	0.40	0.00	2.33	0.29	0.00	0.33
30	0.00	0.00	0.59	0.86	2.78	0.70	0.33	0.05	0.64	0.00	1.93	0.32	0.00	0.56
31	0.03	0.08	0.26	0.79	2.61	0.54	0.26	0.08	0.51	0.03	1.75	0.24	0.00	0.61
32	0.00	0.18	0.19	0.64	2.71	0.49	0.22	0.07	0.25	0.00	1.04	0.25	0.00	0.41
33	0.03	0.13	0.20	0.51	1.59	0.30	0.10	0.01	0.13	0.01	0.53	0.39	0.00	0.29
34	0.00	0.18	0.05	0.50	2.12	0.58	0.32	0.01	0.49	0.01	0.85	0.19	0.00	0.39
35	0.00	0.20	0.16	0.60	3.31	0.27	0.09	0.01	0.35	0.00	0.59	0.13	0.00	0.63
36	0.00	0.43	0.19	0.57	2.35	0.52	0.19	0.03	0.44	0.03	0.48	0.15	0.00	0.67
37	0.00	0.76	0.13	0.68	2.92	0.29	0.23	0.03	0.41	0.00	0.36	0.20	0.00	0.61
38	0.01	0.77	0.18	0.43	1.88	0.43	0.23	0.01	0.42	0.00	0.28	0.15	0.00	0.89
39	0.03	0.84	0.08	0.66	2.76	0.46	0.19	0.04	0.57	0.01	0.39	0.22	0.00	0.61
40	0.00	1.23	0.03	0.68	2.53	0.37	0.16	0.00	0.40	0.00	0.23	0.23	0.00	1.12
41	0.02	0.86	0.00	0.81	2.75	0.44	0.19	0.05	0.38	0.00	0.18	0.08	0.00	0.56
42	0.00	1.04	0.07	0.97	3.21	0.38	0.17	0.01	0.44	0.01	0.07	0.19	0.00	0.81
43	0.02	1.05	0.07	0.90	4.07	0.64	0.32	0.03	0.40	0.00	0.08	0.16	0.00	0.72
44	0.03	0.90	0.04	0.82	5.22	0.64	0.19	0.00	0.22	0.01	0.07	0.18	0.00	0.28
45	0.02	1.04	0.08	1.34	7.64	1.15	0.08	0.07	0.47	0.01	0.07	0.09	0.00	0.33
46	0.02	0.81	0.11	1.26	12.24	1.15	0.07	0.00	0.50	0.00	0.07	0.08	0.00	0.47
47	0.07	0.71	0.11	1.14	14.55	1.11	0.01	0.01	0.29	0.01	0.07	0.11	0.00	0.28
48	0.13	0.92	0.14	1.06	16.04	1.67	0.00	0.00	0.33	0.01	0.10	0.04	0.00	1.00
49	0.18	0.65	0.20	1.77	14.04	1.08	0.01	0.01	0.20	0.01	0.05	0.05	0.00	0.61
50	0.22	0.80	0.26	1.47	12.92	2.24	0.04	0.04	0.22	0.01	0.01	0.12	0.00	0.61
51	0.39	0.53	0.11	1.99	11.27	1.38	0.04	0.01	0.36	0.00	0.05	0.07	0.00	0.33
52	0.71	0.59	0.10	1.03	9.16	1.92	0.01	0.04	0.29	0.00	0.03	0.05	0.00	0.06
計	292.97	17.78	8.12	65.16	338.78	49.93	8.67	3.50	18.37	0.31	18.05	11.97	0.23	22.59

\* : A群溶血性レンサ球菌咽頭炎, 計 : 総報告数を表1の定点数で割り戻し、年間の定点あたり報告数とした。

表 3. 2012 年感染性胃腸炎の小児科定点あたりの保健所別報告数

		総数	男性	女性
京都府管轄保健所	乙訓	674	375	299
	山城南	21	13	8
	中丹西	380	188	192
	山城北	332	173	159
	南丹	317	155	162
	中丹東	439	232	207
	丹後	151	75	76
京都市保健所	北	137	75	62
	上京	213	116	97
	左京	368	184	184
	中京	326	172	154
	東山	567	302	266
	山科	159	77	82
	下京	30	16	14
	南	624	323	301
	右京	525	278	248
	伏見	375	187	188
	西京	635	323	312

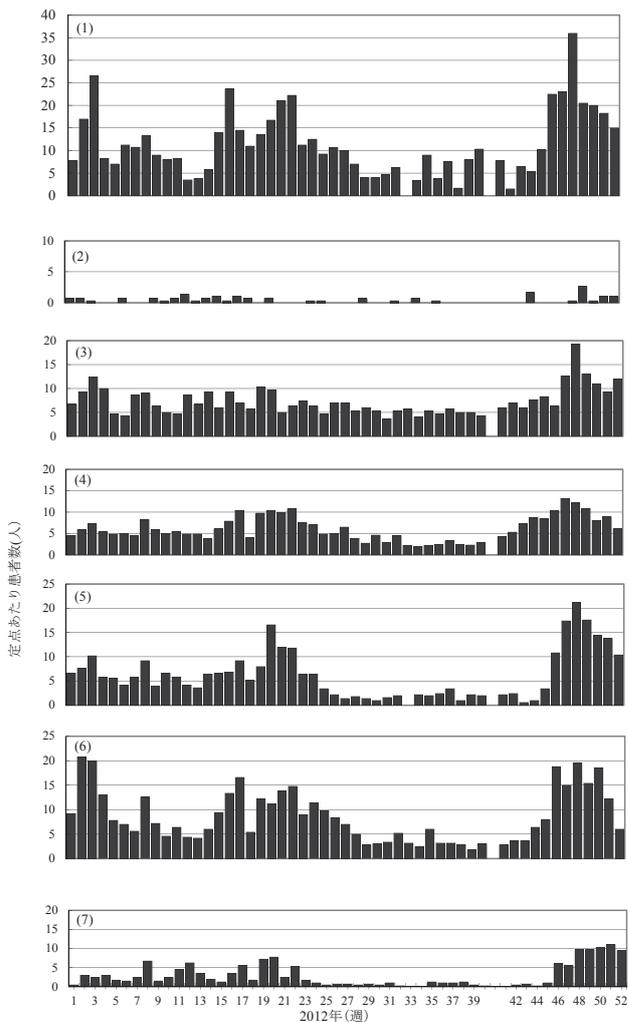


図 2. 2012 年感染性胃腸炎の小児科定点あたりの保健所別週別の報告数の推移  
 (1) 乙訓 (2) 山城南 (3) 中丹西 (4) 山城北 (5) 南丹 (6) 中丹東 (7) 丹後

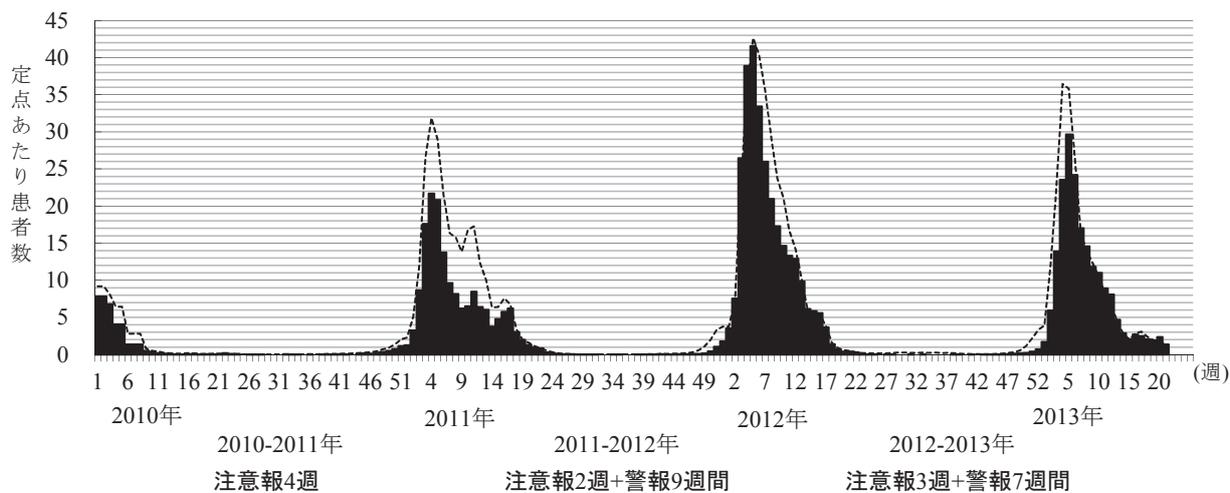


図 3. インフルエンザの流行シーズンの推移 (最近 3 シーズン)  
 ■ : 京都府定点あたり患者数、--- : 全国定点あたり患者数

点からで、乙訓・山城南・山城北と京都市の4定点からの報告はなかった。男性の報告数は女性の約1.6倍で、乳幼児あるいは高齢者に多く、全国の傾向と一致していた。

薬剤耐性緑膿菌感染症は、2011年は全国でやや増加傾向にあったが、2012年京都府では77歳男性1人の報告であった。通常、この感染症は高齢者の報告が多く見られる。

無菌性髄膜炎は主にエンテロウイルスを原因とする感染症であり、男児にかかりやすい傾向にある。京都府での報告は、12歳の男児1人であった。

細菌性髄膜炎は乳幼児にとって、命の危険を伴う疾患

である。京都府では、6歳男児1人の報告があった。

### 3. 性感染症 (STD) 定点報告

STD 定点から報告される4感染症について、2012年の京都府の発生状況を年齢階級別、男女別に表6に示した。2012年は、性器クラミジア感染症は475人(定点あたり20.7人)、性器ヘルペスウイルス感染症141人(定点あたり6.1人)、尖圭コンジローマ52人(定点あたり2.3人)、淋菌感染症は91人(定点あたり3.9人)の報告があり、2010年及び2011年と同程度の報告数<sup>1) 2)</sup>であった。

4感染症とも10歳代後半から40歳代後半に患者数が多かった。10歳代後半から40歳代後半の年代が占める

表4. 2012年京都府基幹病院定点からのマイコプラズマ肺炎報告(男女別、年齢区分別)と全国集計の比較

	京都府						全国					
	男性		女性		総報告数		男性		女性		総報告数	
0歳	0	0%	0	0%	0	0%	153	1%	96	1%	249	1%
1~4歳	23	47%	20	31%	43	38%	3502	32%	3626	29%	7128	31%
5~9歳	14	29%	24	37%	38	33%	3593	33%	3651	29%	7244	31%
10~14歳	7	14%	6	9%	13	11%	2018	18%	2090	17%	4108	18%
15~19歳	1	2%	1	2%	2	2%	360	3%	500	4%	860	4%
20~24歳	1	2%	1	2%	2	2%	142	1%	296	2%	438	2%
25~29歳	1	2%	3	5%	4	4%	132	1%	358	3%	490	2%
30~34歳	1	2%	0	0%	1	1%	144	1%	407	3%	551	2%
35~39歳	0	0%	3	5%	3	3%	117	1%	292	2%	409	2%
40~44歳	0	0%	0	0%	0	0%	82	1%	214	2%	296	1%
45~49歳	0	0%	1	2%	1	1%	48	0%	94	1%	142	1%
50~54歳	0	0%	0	0%	0	0%	57	1%	78	1%	135	1%
55~59歳	0	0%	2	3%	2	2%	57	1%	87	1%	144	1%
60~64歳	0	0%	2	3%	2	2%	70	1%	124	1%	194	1%
65~69歳	0	0%	1	2%	1	1%	74	1%	84	1%	158	1%
70歳以上	1	2%	1	2%	2	2%	420	4%	380	3%	800	3%
計	49	100%	65	100%	114	100%	10969	100%	12377	100%	23346	100%

表5. 2012年京都府基幹病院定点からのメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告(男女別、年齢区分別)と全国集計の比較

	京都府						全国					
	男性		女性		総報告数		男性		女性		総報告数	
0歳	1	1%	5	8%	6	8%	458	3%	361	4%	819	4%
1~4歳	0	0%	0	0%	0	0%	361	3%	297	4%	658	3%
5~9歳	1	1%	0	0%	1	0%	168	1%	129	2%	297	1%
10~14歳	1	1%	0	0%	1	0%	89	1%	60	1%	149	1%
15~19歳	0	0%	0	0%	0	0%	77	1%	60	1%	137	1%
20~24歳	1	1%	0	0%	1	0%	75	1%	56	1%	131	1%
25~29歳	0	0%	1	2%	1	2%	84	1%	103	1%	187	1%
30~34歳	0	0%	0	0%	0	0%	92	1%	105	1%	197	1%
35~39歳	0	0%	1	2%	1	2%	145	1%	104	1%	249	1%
40~44歳	2	2%	1	2%	3	2%	189	1%	133	2%	322	1%
45~49歳	0	0%	0	0%	0	0%	250	2%	114	1%	364	2%
50~54歳	4	4%	1	2%	5	2%	305	2%	159	2%	464	2%
55~59歳	4	4%	2	3%	6	3%	482	3%	204	2%	686	3%
60~64歳	3	3%	2	3%	5	3%	928	7%	447	5%	1375	6%
65~69歳	8	8%	4	7%	12	7%	1123	8%	509	6%	1632	7%
70歳以上	72	74%	42	71%	114	71%	8952	65%	5443	66%	14395	65%
計	97	100%	59	100%	156	100%	13778	100%	8284	100%	22062	100%

表 6. 2012 年京都府性感染症定点からの患者報告数 (男女別、年齢区分別)

	性器クラミジア症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
0 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
1~4 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14 歳	0	0	0	1	0	0	0	0
15~19 歳	4	61	1	2	0	4	4	13
20~24 歳	17	114	3	28	1	11	8	21
25~29 歳	34	73	2	18	3	10	8	9
30~34 歳	20	50	2	9	3	3	7	2
35~39 歳	21	26	2	23	0	4	5	2
40~44 歳	16	10	1	8	4	5	5	0
45~49 歳	10	6	3	7	2	0	2	2
50~54 歳	4	2	1	3	1	0	1	1
55~59 歳	3	1	1	6	1	0	1	0
60~64 歳	3	0	1	6	0	0	0	0
65~69 歳	0	0	1	4	0	0	0	0
70 歳以上	0	0	1	7	0	0	0	0
合計	132	343	19	122	15	37	41	50

割合は、淋菌感染症 97% (うち男性: 95%、女性: 98%)、性器クラミジア感染症 97% (うち男性: 92%、女性: 99%)、尖圭コンジローマは 96% (うち男性: 87%、女性: 100%) 及び性器ヘルペスウイルス感染症 70% (うち男性: 58%、女性: 72%) であり、性器ヘルペスウイルス感染症は、特に女性感染者は広い年齢層に渡って感染者がみられた。

### 謝辞

患者情報収集に尽力していただきました定点病院なら

びに保健所の皆様に深謝します。

### 引用文献

- 1) 中嶋智子, 奥村真友美, 柳瀬杉夫. 2011. 2010 年感染症発生動向調査 (患者発生動向) - 定点把握感染症. 京都府保健環境研究所年報, 56, 41-46.
- 2) 中山淳一郎, 真田正稔. 2012. 2011 年感染症発生動向調査 (患者発生動向) - 定点把握感染症. 京都府保健環境研究所年報, 57, 44-49.